

東北地域で今回認定された 農工商等連携事業計画のポイント

県名	農林漁業者 中小企業者	開発商品やサービス など
青森	宇藤正悦	田子産ニンニクを低温熟成処理した「琥珀(こはく)にんにく」加工品
	田子かわむらアグリサービス	
岩手	黒石梅の里生産組合・JA新しいわて	岩手県産の果実を活用した、糖類無添加のリキュール
	南部美人	
宮城	佐藤正弘	減農薬・減化学肥料の古代米を活用した菓子類
	貝茶舗	
	宮城県漁業協同組合鳴瀬支所	カキ殻を低温乾燥したミネラル豊富なカルシウム肥料「蛎右衛門(かきえもん)」
グリーンマン		
山形	鈴木徹雄	山形県中山町特産「豊田すもも」を活用した「すももスパークリングワイン」
	武田庄二商店・高畠ワイン	

東北農政局と東北経済産業局は27日、5件の農工商等連携事業計画を認定した。農林漁業者と中小企業が共同で取り組む新たな商品やサービスの開発を、国が支援するもの。今年度2回目、通算では5回目の認定で、東北地域の同計画の認定数は合計で31件になった。

東北の農工商連携事業 新たに5件認定

などと取り組む岩手県のJA新しいわては、同県のJAでは初の認定。県別の通算認定数は、青森県4件、岩手県2件、秋田県6件、宮城県6件、山形県5件、福島県8件。

同計画は、農工商等連携促進法に基づき国が認定するもので、2008年度から認定が始まった。認定者に対し国は、専門家による助言や商品・販路開発への補助、低利融資、設備投資への減税などで支援する。

今回の認定者には27日、各県で認定書が交付された。地元産果実が原料の糖類無添加リキュール開発に地元の酒造会社